基本から学ぶ、大人のための能鑑賞講座

能の台本を「謡本（うたいぼん）」といいます。
「第 35 回能楽若手研究会大阪公演　大阪若手能」の演目を題材に、
実際の演能の流れにそった解説を聞きながら、一部をみんなで声に出して読みます。
能鑑賞がはじめての方向けの入門講座です。ぜひご参加ください！



講師　能楽大倉流小鼓
久田（ひさだ）　陽春子（やすこ） さん

謡　観世流シテ方
寺澤（てらさわ）　幸祐（こうすけ） さん



謡本を読んでみよう

令和 8 年 2026　**12** 月 **20** 日（日曜日）　**10：00～11：30**（開場 9:30）

大阪市立中央図書館　**5 階　中**会議室　**60** 名（当日先着順・入場無料）



大阪市立中央図書館
〒550-0014
大阪市西区北堀江4-3-2
電話：06-6539-3303
（利用サービス担当）
最寄り駅：Osaka Metro
千日前線・長堀鶴見緑地線
西長堀駅下車　7 号出口すぐ



「第 35 回能楽若手研究会大阪公演　大阪若手能」については裏面へ

第 35 回能楽若手研究会大阪公演　大阪若手能　at 大槻能楽堂

2027 年 **1** 月 **16** 日（土）　**13** 時開演（終演予定：**16** 時 **30** 分）

《演　目》

能 「三輪（みわ）」

四番目物。五流現行曲。大和 三輪山の神婚説話、岩戸隠れの天照大神 の神話、『発心集 』ほかにみえる玄賓僧都 (げんぴんそうず） の和歌説話による、幻想的な作品。

狂言 「昆布売（こぶうり）」

狂言の曲名。雑狂言。大蔵流では大名狂言。類曲『二人大名 （ふたりだいみょう） 』同様、ストーリーに下剋上 的気分も漂うが、さまざまな節で昆布を売るという趣向がこの曲では中心をなしている。売り声の節は、大蔵流が平家節、小歌節、踊り節、和泉 流が謡い節、浄瑠璃 節、踊り節を用いる。

独鼓 「邯鄲（かんたん）」

能の曲目。四番目物。五流現行曲。作者不明。中国の『枕中記 （ちんちゅうき） 』の話を紹介した『太平記』が原典であろう。

能 「熊坂（くまさか）」

五番目物。五流現行曲。作者不明。現在能の『烏帽子折 （えぼしおり） 』の事件を旅僧の幻想として夢幻能の形で描いた曲。同装の僧が対座する前段は他の能にない特色。哀愁と豪快さの対比と同居がみごとな佳作である。

（商用データベース JapanKnowledge「日本大百科全書」より）

久田 陽春子(ひさだ やすこ）さん　プロフィール

能楽師 大倉流小鼓方（重要無形文化財総合認定保持者）

一般社団法人　日本能楽会会員、公益社団法人 能楽協会 正会員・大阪支部所属。

1973 年生まれ。

大倉流 16 世宗家 大倉源次郎師および 父 大倉流小鼓方 久田舜一郎に師事。

・能「鞍馬天狗」子方、花見にて初舞台

・1985 年　大阪能楽養成会入会、卒業ののち能「乱」、「石橋」を披く

・2005 年　能「道成寺」にて大阪舞台芸術新人賞を受賞

・2010 年　自主公演「幸祐・陽春子　能の会」にて、能「安宅」を披く

全国でも数少ない公式の舞台に出演する女性能楽師として各地で活動。

また、能楽の普及および伝統芸能である能楽を守り、後世に伝えていくための活動にも力を注いでいる。

夫　寺澤幸祐は観世流シテ方、叔父　久田勘鴎は観世流シテ方、長男(拓海)、長女(杏海)も修行のため各地の能舞台に出演。